

発行日 2025年12月29日 通算第472号(第1号1982年12月)

仏教瞑想道場情報誌「祈り・瞑想・癒し」(月報)

まごころの声 1月号

発行人 影山教俊 年間購読料 ¥3,000円(郵送料共)
発行所 296-0004 千葉県鴨川市貝渚2929 為替 00120-6-665752
日蓮宗釈迦寺「仏教瞑想道場」 TEL 0470-92-0901 (常不軽庵 TEL 0470-93-3438) FAX 0470-94-5750
URL: <http://syakamuni.world.cocacn.jp/>
E-mail: gef02653@nifty.ne.jp



今月のお話

令和8年(2026年)丙午(ひのえ・うま)の年頭のご挨拶を申し上げます。

「丙」は「ひのえ」と読み「火の兄」九星では九紫火星の星回りです。この象意を合わせると、今年の特徴は次のようになります。

丙(ひのえ)とは「陽の火(太陽)」を象徴し「明るく照らす火」「太陽の勢い」を表し、物事が表面化する・明らかになる・形になるという性質です。そのため決断・発展・拡大のエネルギーが強まり、よいことも悪いことも「はっきりする」年になります。さらに午(うま)は火の気が最も盛んになり、十二支の「午」は、陰陽五行でも火の極まりを示し、情熱・速度・改革・活発さなど、変化が速く、勢いの強い年になります。

コロナ禍以降、とくに2024年から2025年にかけて、国際的にはアメリカ大統領にトランプ氏が就任し、日本では女性総理第一号として高市総理大臣が就任するなど、社会情勢は大きく変化しました。

今年は人の感情も社会の動きも「熱く」なる傾向を示し丙午という特殊な組み合わせ丙(陽の火)+午(火の極)=火の勢いが倍加する「強い火の年」。

そのため社会情勢の急速な発展とブレイクスル

一、情勢の急騰・急落、熱意・対立・世論の高まり、新技術や文化の「鮮烈な登場」といった「強い動き」が象徴されます。

本年は何事も自重して“激しい年”を乗り越えるという覚悟で生活することをお勧めします。

【本年のあなたの運勢について】

ここで皆様の本年の運氣について簡単にお話ししたいと思いますが、「星回りには良し悪しはない」というところからお話を始めましょう。

星回りとは季節の変化のようなものですから、その季節にかなった生活をなさйтеということですよ。

冬に田植はできない、春に刈入れはできない、これは当たり前のことですが、どの時期にどの様にしたら、収穫がたくさん得られるかを知るのが九星気学の考え方なのです。

●「^{いっぽくすいせい}一白水星」は本年度の当り年、中宮のまん中に位置し、俗に八方塞がりの時期で、この数年来の行動を静観し、エネルギーを蓄える時期といえます。また周囲をしっかりと眺めることが必要ですよ。

●「^{じこくどせい}二黒土星」は北西に位置し、季節では晩秋を象徴しますから、新たなことを始めるための準備期間、とくに上半期は綿密な計画準備の時期であ

るといえます。この時期の努力は将来の繁栄と安泰につながるといわれております。

●「三碧木星」は西に位置し、季節では収穫の秋を象徴しておりますから、この数年間努力して積み重ねて来たことが稔る時期です。しかしながら、この時期に手放しで浮かれています、せっかくの収穫を逸してしまいますので、一層の努力を怠らないことが肝要です。

●「四緑木星」は北東に位置し、季節ではまだ根雪の残る初春を象徴しておりますから、ちょうど田植えを待つ農家のように、日常生活を営みながら春の準備を確実にしているならば、下半期からはその努力が報われるでしょう。油断は禁物、日常生活を大切にすることです。変化運に注意です。新しく物事を始めたくなる年ですが、思いと止まりましょう。

●「五黄土星」は南に位置し、季節では盛夏のさなかを象徴しておりますから、周囲からの引合いも多く認められる時期です。しかし、稲に実が入り稔るのも、燦々と輝く太陽の恩恵、大自然の恵み、肝心なところはあなたまかせ、大自然の気分次第でその成果が左右されますから、慎重な行動が必要です。また「五黄」は九星の一つで非常に強力なエネルギーを持つとされ、この方位に向かって行動することは災難やトラブルを引き寄せやすいといえます。これを「五黄殺」と呼びます。

●「六白金星」は北に位置し、季節では厳寒の冬のさなかを象徴しておりますから、ひたすら春の到来を待つといった暗示です。加えて晩秋から冬場にかけて、その年の疲れが出やすい時期ですから、何よりも休養に心がけて健康診断を受けることも、安心を買う意味で必要でしょう。また今年には暗剣殺を背負いますから、事件事故など突発的なことに最大の注意が必要です。

●「七赤金星」は南西に位置し、晩夏から初秋を象徴しておりますから、収穫の時期を控えて、稲穂の出来栄えなどが見えはじめる時期です。出来栄え一つで一喜一憂せずに、それを分相応にいた

だく確実な努力が必要です。とくに下半期に期待することが多いでしょう。

●「八白土星」は方位では東に位置し、季節では春を象徴しておりますから、ちょうど田植の時期に当たるといえます。ですから、新しいこと、今まで手控えて準備していたことを積極的に実行に移す時期といえます。

●「九紫火星」は南東に位置し、季節では初夏を象徴しますから、昨年からの積極的に実行してきた事柄が形になるよう取捨する時期、あたかも稲の成長が邪魔されないよう余分なものを間引き、雑草を取る時期といえます。



日本になるには？

○江戸の日本人について

私たちは、いま、西洋人になっていませんか？というのが、今日の私の主張である。皆さん、どう思いますか？

いまから150年前の幕末に伊豆下田に上陸したイギリス大使のオールコックは「日本人はいろいろな欠点をもっているとはいえ、幸福で気さくな、不満ない国民であるように思われる」といいました。黒船で有名なアメリカのペリー提督も「日本の人びとは一様に幸福そうで満足そうだ」といい、このペリー来日の4年後に下田を訪れたイギリス海軍のオズボーンは「誰もが、どのような人も、私たちがどうすればよいかと指示するまでもなく、幸せで、わずらいから解放されているように見えた」という。

その当時の欧米の民主主義社会の人々から見ると、日本人は自由で幸福な生活をしているように見えている。さらに江戸市中では、夕暮れになると一般庶民がお酒を飲んで赤い顔をして歩いていた姿も報告されている。そして、明治になって『タイムズ』紙（明治19年）で伊香保（いかほ）温泉の湯治客について「誰の顔にも陽気な性格の特徴である幸福感、満足感、そして機嫌のよさがありありと現れていて、その場の雰囲気はとてよかった」と掲載されている。

○日本人を取り戻そう

お米の中心の文化、農耕文化が消えて、日本人が帰るべき故郷を失った瞬間、何が起きたか。人間の命が軽くなってしまった。経費がかかるという理由で、親御さんの葬儀をせず、ご遺体を処理する感覚で「火葬」してしまう。まるで人を物のようにつかうことで、人々のつながりも希薄化する。

仏教界も宗教法人として、葬儀法要も経済活動だから、マネー経済に吞まれて営業となるから、その感覚を助長している。

嫌な話をするが、1人の自死が10人の苦悩を生むという。1人の死には100人の関係者がいることになる。葬儀を営むということは、そこに多くの縁者が関わっている。縁者が集まることで喪主も親のルーツを知り、一族、地縁のつながりも分かり健やかな人生を歩めるというものである。

日本人を取り戻すには、私たちの家族、一族、地域地縁を大切にすることだと思いませんか。生老病死は人の人生ではノーマルだから、葬儀法要があれば、みなに案内して供養していただきたいと思うしだいだ。

住職



妙慧の法尼の眼から

—マントラを唱える—

アーユルヴェーダ学会の今年のテーマは「長生きの方法.ラサーヤナ」でした。

日常生活の中で続けると養生できる技をいろいろ学びました。身体はオイルによって浄化できますが、心の浄化はマントラを唱えること。

インドでも朝、夕の家庭での祈りの時間があるそうです。近代化された生活の中で祈りの時間が省かれて、目に見えるものだけを追いかける毎日を過ごしています。

アーユルヴェーダは、仏教の生活法です。仏壇の前でお題目や念仏、お経を唱えることは、マントラを唱えることです。

ご飯を食べる時の「いただきます」終わった時の「ごちそうさま」これもマントラです。

見えないけれど守ってくれているものに感謝する心が、忙しくて追い詰められていく心を浄化します。

お題目を唱えましょう。

【YouTube Live 配信中】

◆YouTube・ライブ配信のご案内◆

①Dr.Kyoshun の瞑想チャンネル

<https://www.youtube.com/@dr.kyoshun8589>

②お坊さんが教えるヨーガと瞑想チャンネル

<https://www.youtube.com/@deyogayoga753>

【アーユルマクロ・ヨーガ】

2026年1月28日(水)

10:00 陰陽座学

11:00 マクロ料理

12:00 試食会

13:00 アーユルヴェーダ

14:00 ヨーガ

【Shun's Cafe】

完全予約制にて営業いたします。

《お寺では裏千家茶道教室を開設中》

§ 1月のご案内 §

◆新春初祈祷会◆

11日(日) 午後2時より水行後に祈祷
『おしろこ』の総供養があります♪

◆お施餓鬼会◆

水向塔婆：500円・燈明料：500円
15日(月) 午後2時より

◆七面様の御開帳◆

18日(日) 午後2時より

◆瞑想会・健康ヨーガ◆

○朝ヨガ 4日(日)・18日(日)
25日(日)

7:00~8:30

○東金ヨガ 8日(木) 22日(木)
29日(木)

13:00~15:00

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
朝ヨガ			七草	東金		
11	12	13	14	15	16	17
初祈祷 朝ヨガ				施餓鬼会		
18	19	20	21	22	23	24
朝ヨガ				東金		
25	26	27	28	29	30	31
朝ヨガ			アーユル マクロ	東金		